

2023  
vol.62  
no. 3

# 写真測量とリモートセンシング

小特集 「SLAM（手持ちレーザスキャナ）その2」

## 目次

〈巻頭言〉 地理情報の表現の高度化	浅見泰司	97
〈カメラアイ〉 IoT インフラ遠隔監視サービス「Infra Eye」	渡辺 隆	98
〈小特集〉 「SLAM（手持ちレーザスキャナ）その2」		100
〈原著論文〉 UAV 搭載型レーザスキャナの精度に関する研究	中野一也	119
〈研究速報〉 敵対的生成ネットワークによる SAR-光学画像変換手法の比較 藺部 礼, 関 晴之, 飯尾淳弘, 島村秀樹 望月貫一郎, 齋藤元也, 吉野邦彦		127
〈活動報告〉 第62回定時総会 報告	布施孝志	134
〈活動報告〉 令和5年度年次学術講演会 報告	中川雅史	140
〈文献抄録〉 DX 白書2023	筒井駿吾	162
〈文献抄録〉 Look-up table approach for uncertainty determination for operational vicarious calibration of Earth imaging sensors	山本浩万	163
〈会のうごき〉		165
〈投稿要領・執筆要領・原稿送付状〉		167

表紙説明：超解像とは、解像度の低い画像では不鮮明な細部の情報を復元する技術のことで、テレビや映像の世界で発展している。表紙の背景画像は、Sentinel-2のトゥルーカラー合成画像であり、その中の円で囲まれた画像は、Sentinel-2画像から深層学習により生成した超解像画像である。深層学習を用いた超解像は、学習に基づいて細部を復元する方法のため、復元された情報が必ずしも現実と一致するとは限らないことに留意する必要があるが、概して自然な画像を生成することが可能である。今後、この技術分野の発展によって、農業や環境等の様々な分野への応用が期待される。

表紙背景画像：Sentinel-2 衛星画像（10m 解像度）

クレジット：Contains modified Copernicus Sentinel data [2021]  
processed by Sentinel Hub

表紙円内の画像：超解像画像（2.5m 解像度）

©2023 アジア航測株式会社

### 編集委員

委員長	織田和夫	(アジア航測(株))
委員	石塚直樹	(農業・食品産業技術総合研究機構)
	今井靖晃	(国際航業(株))
	上村治睦	(リモート・センシング技術センター)
	岸本紀子	(国土地理院)
	木寺幸司	(日本測量協会)
	窪田 諭	(関西大学)
	高橋 陪夫	(宇宙航空研究開発機構)
	近津博文	(東京電機大学)
	沼田洋一	(アジア航測(株))
	藤野千和子	(日本写真測量学会)
	布施孝志	(東京大学)
	政春尋志	(元 東洋大学)
	吉野邦彦	(東京大学)
	李 勇鶴	((株)パスコ)
	力丸 厚	(長岡技術科学大学)

本学会のホームページを開設いたしておりますのでご覧ください。

<http://www.jsprs.jp>

E-mail: [office-jsprs@jsprs.jp](mailto:office-jsprs@jsprs.jp)